

食料の未来と わたしたちの“いま”

(社会科・家庭科・総合的な学習の時間)



DVD「食料の未来を
確かなものにするために」
中学校教師用解説書

はじめに

監修者あいさつ

21世紀に入って、食料自給率の低下に象徴されるような農林水産業の現状は厳しさを増しています。また、子どもたちの食環境も変貌を遂げ、そのような背景から「食育基本法」も制定されました。子どもたちの未来を拓くために、食料問題と食育に取り組むべき時期にきています。あたかも新しい学習指導要領が告示され、教育に対する新しい試みを大胆に実践することが求められています。農林水産省の作成した「食料の未来を確かなものにするために」(DVD)を中学校で積極的に活用していただくために、このプロジェクトはスタートしました。教科としては社会科、家庭科、そして総合的な学習の時間の指導案を現職の先生方の協力を得て作成しました。多様な実践が可能なように構成してありますし、巻末に掲載した資料は、授業に即活用できるデータの宝庫です。食料問題は中学生にとって身近で緊急を要する課題です。問題解決に積極的にアプローチする子どもたちを育てるためにぜひご活用ください。

筑波大学副学長 谷川彰英

農林水産省あいさつ

近年、中国やインド等の経済発展による、食料需要の増加等に伴い、世界の食料需給の情勢に大きな変化が生じています。このような中で、国民に対する食料の安定供給の確保を図るため、国産農産物を食べることをはじめ、食料自給率を向上させることが重要です。そして、この取組を推進することは、同時に健康の増進や農村の活性化、地球環境の保全にも望ましいということ、広く国民の皆様を知っていただくことが必要です。これらを踏まえ、平成20年10月より、食料自給率向上に向けた国民運動「FOOD ACTION NIPPON」がスタートしています。生産者、企業・団体、消費者など国民の皆様がこの運動に参加していただくこと、特に、学校や家庭などのあらゆる教育の場において、食料・農業・生命の大切さを子供と若者に伝えることが大切であると考えております。このような考えを踏まえて作成した本書が、教育の現場において活用されることを期待しております。



大臣官房 食料安全保障課長 末松広行

解説書の使い方

この解説書は中学校の社会科（公民・地理・歴史分野）、家庭科、総合的な学習の時間を対象に、5つの単元で構成されています。各単元でも活用できますし、それぞれが独立した学習としても活用できるようにしてあります。各単元に共通する要素も含まれていますので、相互に関連づけて弾力的に授業計画に取り組むこともできるでしょう。たとえば社会科は単元1、2、3を通して流れをつくることも可能ですし、家庭科の単元は、全ての単元にかかわっていますが、特に社会科の単元2と連動することも可能です。また総合的な学習の時間では、1-4の単元を統括したうえで、行うことも考えられます。各学校の状況に応じ、さまざまな可能性を模索できると思います。

同封の一般向けDVD「食料の未来を確かなものにするために」（発行：農林水産省）は平成20年度文化庁メディア芸術祭において、エンターテインメント部門の審査委員会推薦作品に選出されており、社会に発信されている情報を受け止め、整理して考えるといった情報リテラシーの観点から、各授業の中での「まとめ」の参考や、「きっかけづくり」としての視聴覚資料として、ご活用いただけると幸いです。

解説書内の資料、ワークシートなど、授業の素材は、日本教育新聞社のホームページ「先生解決ネット」より、ダウンロード可能です。ぜひ、ご活用ください。



日本教育新聞社ホームページ 先生解決ネット

<http://www.kyoiku-press.com/>

各単元別で独立した授業の運営も可能だが、弾力的に科目を組み合わせ活用することも可能（例：第2単元+第4単元）

連続した運用
↓
単元別の運用

構成	タイトル	科目	DVD活用部分
第1単元	「戦後日本の食料確保の歴史」	社会科 歴史「近現代の日本と世界」 歴史「現代の日本と社会」 公民「わたしたちが生きる現代社会と文化」	第2部
第2単元	「日本の食料輸入と世界」	社会科 地理「資源や産業から見た日本の地域的特色」 公民「現代日本の歩みとわたしたちの生活」	第1部
第3単元	「食料の未来と環境・世界」	社会科 公民「現代日本の歩みとわたしたちの生活」 <新学習指導要領> 公民「よりよい社会を目指して」	第1部 第2部
第4単元	「サステナブル・クッキング」	家庭科 <献立・調理実習>	第1部
第5単元	「日本の食が危ない！」	総合的な学習の時間	第1部

科目の一部を共有した運用



DVD資料「食料の未来を確かなものにするために」**食料の未来を描く戦略会議**に基づき食料問題に関する映像資料を構成。

社会科（地理・歴史・公民）、家庭科、総合的な学習の時間において、本資料と併用することで弾力的な運用が可能。



第1部
アニメーションを駆使したリズムカルなストーリー展開で、現在の食料問題について考えます。（約5分）



第2部
豊富なスライドショーで、戦後の社会経済の歩みとわたしたちの食生活を振り返ります。（約5分）

もくじ

4	単元1 社会科（歴史・公民） 戦後日本の食料確保の歴史	21
7	単元2 社会科（地理・公民） 日本の食料輸入と世界	22
10	単元3 社会科（公民） 食料の未来と環境・世界	23
13	単元4 家庭科（献立づくり・調理） サステナブル・クッキング	24
17	単元5 総合的な学習の時間 日本の食が危ない！	25

資料

- 1 世界人口と所得の変化にともなう食料需要の変化
- 2 畜産物1kgの生産に要する穀物量
- 3 バイオエタノール需要の増加と穀物の生産量
- 4 途上国と先進国の食料事情
- 5 カロリーベースの日本の食料自給率は大幅に減少
- 6 昭和40年度と平成19年度の日本の食料事情を比較
- 7 国内で必要とされる食料と自給できる割合
- 8 畜産物の輸入状況と国産の現状
- 9 国内生産だけで現在の食生活を100%自給で維持することは困難
- 10 国内農地のみで食料を供給する場合の一日の食事メニュー例
- 11 構造的に不安定な農産物の国際市場
- 12 国内における農業構造は脆弱化している
- 13 わが国は世界の穀物市場から大量の穀物を買っている
- 14 日本の食料事情についての認知度調査
- 15 身近な環境保全と食料の関係
- 16 日本人の栄養バランスの変化と健康状況の変化
- 17 日本の農地面積と耕作放棄地